

NEW SOPHIA

福岡歯科学園広報誌

福岡歯科大学は「口腔医学の確立」を推進しています。

JULY. 2009 Vol.17 No.3 [第63号]

ニュー ソフィア



歯の衛生週間にちなんで開催された「お口と歯の無料相談」

平成20年度事業報告及び決算	2・3
公開講座のご案内	4
平成21年度科学研究費補助金の交付決定	5
上海交通大学口腔医学院との乾杯交流・続編／東釜山大学学生が短大を訪問／海外研修派遣	6
昇任・新任教員紹介、福岡歯科大学AO入試学術奨励金支給者・特待生表彰、 大学院奨学生決定、福岡医療短期大学特別奨学生表彰	7
第12回福岡歯科学園体育祭／第41回歯学体夏期部門	8
FROM THE ALUMNI ASSOCIATION 同窓会だより	9
HI FROM CLINICS クリニックからこんにちは	10
FROM PARENTS 保護者からのメッセージ	11
平成22年度入試日程／オープンキャンパス	12

福岡歯科学園ホームページも
ご覧ください。
<http://www.fdcnet.ac.jp>

平成20年度事業報告および決算

学校法人福岡歯科学園の事業報告および決算が、5月26日開催の評議員会、理事会で承認されました。その概要は次のとおりです。

平成20年度事業の概況

○「口腔医学の学問体系の確立」に向けての取り組み

平成20年度は国公立歯学部・歯科大学及び歯科医師会並びに医師会等と意見交換を行うとともに、文部科学省、厚生労働省を訪問し、理解と支援を要請しました。また、日本学術会議市民公開シンポジウム(平成20年9月)での講演及び口腔医学シンポジウム(平成21年1月)の開催並びに学士会報及び外国学術誌(Journal of Dental Education)への投稿など広く社会に対し、アピールを行っています。

○「歯科医師国家試験及び歯科衛生士国家試験」合格率向上への取り組み

歯科医師国家試験合格への学力把握のため全国的な模擬試験等の実施結果に基づく適切な学習指導や、卒業試験問題等のブラッシュアップを行うなど従来の卒業判定審査をより厳格に行いました。その結果、第102回国家試験における新卒受験者81人中72人が合格し、合格率は88.9%で、私立歯科大学では第1位となりました。

医療短大の歯科衛生学科は、成績不振者に対する補習等の早期対応を含め、きめ細かい学習指導を行った結果、第18回歯科衛生士試験では新卒受験者96人中94人が合格し、合格率は97.9%でした。

○教育の改善・充実

今年度、大学においては文部科学省GP「戦略的年度連携支援事業」に、本学を中心とした「8大学連携プログラム(口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考)」が採択されました。また、教育方法の改善及び学習意欲の向上に向けて、組織的FDの充実及び平成20年度実施の全授業についての教育効果の検証や、留級学生に対する父兄を交えた面談指導など、多様な学生に対するきめ細かい指導を行っています。

医療短大においては文部科学省GPに、「介

護予防時代における歯科衛生士の口腔機能向上支援をスキルアップする実践教育」が採択されました。また、歯科衛生学専攻では9人の専攻科生全員が、平成19年度に大学評価・学位授与機構から認定された全国初となる「口腔保健学士」の学位を授与されました。歯科衛生学科及び保健福祉学科とも多様な学生に対応して進路指導のための資格取得支援教育を含め、よりきめの細かい学習指導を行い進路決定率は100%を確保しました。

○学生募集事業

大学及び医療短大の定員未充足の状況を踏まえて、学生募集事業全体の厳しい点検と見直しはもちろん、その積極的かつ効果的な広報展開が重要な課題となっています。同窓会や父兄後援会等との連携活動強化も大切な課題です。

○研究の活性化

平成20年度から研究活性化等の一環として、専任教員等の研究テーマ取り組み状況について、各所属長及び教授全員との面談を行うことにより、若手教員の育成、計画的な研究の実施等の指導充実を図っています。本年3月末に臨床研修医及び6学年進学者に対し大学院進学の意識調査を行い、魅力ある大学院として整備すべき問題点を洗い出すこととしています。

平成20年度から開始の文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、本学研究プロジェクトの「疾患の抑制におけるゲノム安定性と環境ストレスの制御」が採択されたことを受け、平成20年12月に学術フロンティア研究センターを発展的に解消し、新たに「先端科学研究センター」を設置しました。今後、先端科学研究センターの充実を図り、グローバルCOEの獲得を目指すこととしています。

○医療・福祉事業

医療歯科総合病院は、平成19年度に審査を

受けた病院機能評価について、平成20年5月に日本医療機能評価機構から認定証が授与されました。外来患者総数は前年度より0.1%の減少となっており、特に内科における患者の確保が大きな課題です。

介護老人保健施設サンシャインシティは、開設7年目を迎えて「原点回帰」というスローガンを掲げ、利用者にとってより魅力のある施設として、大学・短大の教育実習の場として一層の充実に努めています。

○管理運営面

本学園の理事、監事、評議員の任期(3年)が平成20年8月2日で満了になることに伴い、平成20年7月開催の理事会、評議員会で現役員全員の再選が承認されました。

平成21年2月から本館の耐震改修工事を開始し、教育・研究面への影響等も考慮して工事が進んでおり、完成は平成22年3月を予定しています。この工事に関して、文部科学省から私立学校施設整備費補助金(防災機能等強化緊急特別推進事業)として約4億1千万円の交付内定を受けることができました。今年度実施した短期大学、病院、アニマルセンターの耐震診断の結果、病院については耐震工事が必要とされたため、改築等を視野に入れた検討が行われています。

○財政面

平成20年度事業を全て自己資金で賄うとともに、建物の改築・改修や教育・研究活性化等のための資金蓄積と計画的運用に努めてきました。学園全体についての事業収益性の見直しや点検も進めてきましたが、競争的環境の急激な進展の中、財政見直しは一層厳しさを増しているため、今年度は役員が新しい任期を迎えるに当たり、改訂中期構想を再検討して、今後3年間の数値目標等を含めた改訂を行い(平成20年10月9日改訂)、教職員が一致協力して、その実現に努力することとしています。

平成20年度(第37期)決算の概要

平成20年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

1.資金収支計算書

《収入の部》

①学生生徒等納付金収入は、短大学生数の減少等により対前年度比3,334万円の減収となりましたが、概ね予算額と同額の35億7,402万円となりました。

②補助金収入は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業や戦略的年度連携支援事業が採択されたことにより、対前年度比1,193万円増となり、概ね予算額と同額の5億1,719万円となりました。

③事業収入は、歯科収入等の増により対前年度比1,285万円増となり、予算額を2億2,364万円上回る17億1,130万円となりました。このうち、病院医療収入は12億7,153万円、老健施設介護収入は4億1,906万円です。

上記の他、手数料収入、寄附金収入、資産運用収入及び雑収入等を加えた収入合計額は77億7,087万円となりました。これに、前年度繰越支払資金14億6,429万円を加えた収入の部合計額は92億3,516万円となりました。

《支出の部》

①人件費支出は、医員数の増加等により対前年度比895万円増となりましたが、予算額を3億4,298万円下回る34億6,234万円となりました。

②教育研究経費は、19年度に病院情報システム(HIS)整備が完了したことにより対前年度比1億9,387万円減となり、予算との比較も7,432

万円下回る11億8,234万円となりました。

③施設関係支出は、本館の耐震改修工事及び本館用熱源機器取替工事を実施したことにより、対前年度比3億700万円増となりましたが、概ね予算額と同額の3億4,404万円となりました。

上記の他、管理経費及び設備関係支出等を加えた支出合計額は82億9,253万円となりました。収入の部合計額からこれを差し引いた次年度繰越支払資金は、9億4,263万円になりました。なお、老健施設の収支差額は6,152万円となりました。

2.消費収支計算書

《消費収入の部》

帰属収入の合計額は68億5,535万円で、第2号基本金(本館・病院改修等資金)6億円、及び第3号基本金(教育研究基金及び学術振興基金)5億2,315万円等の基本金組入額14億7,037万円を差し引いた消費収入の部合計額は53億8,498万円になりました。

《消費支出の部》

消費支出の部合計額は、52億8,241万円になりました。なお、人件費比率は対前年度比2.5%減の49.3%であり、全国平均49.6%(平成19年度)並みとなっています。

この結果、消費収支差額は1億257万円の収入超過となり、これに前年度繰越消費収入超過額38億8,614万円と、除却超過による基本金取崩額1億4,321万円を合計した翌年度繰越消費収入超過額は41億3,192万円になりました。なお、帰属収支差額比率は対前年度比5.8%

増の22.9%となり、全国平均5.8%(平成19年度)をかなり上回っており、財務の健全性を維持しています。

3.貸借対照表

資産の部合計は、有価証券購入等により530億7,665万円になり、前年度に比べ14億6,375万円の増になりました。

負債の部合計は、退職給与引当金等で36億9,760万円になり、前年度に比べ1億919万円の減になりました。なお、借入金はありません。

基本金の部合計は、第2号基本金引当資産の組入れ6億円等により、452億4,713万円になり、前年度に比べ13億2,716万円の増になりました。

消費収支差額の部合計(資産の部合計-負債の部合計-基本金の部合計)は41億3,192万円になり、前年度に比べ2億4,578万円の増になりました。

4.財産目録

資産の部は、土地、建物等の基本財産347億6,650万円と減価償却引当特定資産等の運用財産183億1,015万円の合計で530億7,665万円となりました。

負債の部合計は36億9,760万円で、資産の部合計額、負債の部合計額とも貸借対照表の合計額と一致しています。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた差引正味財産は493億7,905万円になり、前年度に比べ15億7,294万円の増になりました。

平成20年度(第37期)資金収支決算総括表(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:円)

【収入の部】					
科 目	予 算		決 算		差 異 金 額
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	
学生生徒等納付金収入	3,573,533,000	48.10	3,574,022,500	45.99	△ 489,500
手数料収入	26,940,000	0.36	22,884,595	0.29	4,055,405
寄附金収入	27,100,000	0.36	22,873,200	0.29	4,226,800
補助金収入	523,931,000	7.05	517,193,100	6.66	6,737,900
国庫補助金収入	523,846,000	-	517,121,000	-	6,725,000
地方公共団体補助金収入	85,000	-	72,100	-	12,900
資産運用収入	820,383,000	11.04	831,003,094	10.69	△ 10,620,094
資産売却収入	500,000,000	6.73	523,150,000	6.73	△ 23,150,000
事業収入	1,487,665,000	20.02	1,711,305,482	22.02	△ 223,640,482
雑収入	104,398,000	1.41	151,333,563	1.95	△ 46,935,563
前受金収入	672,550,000	9.05	771,411,000	9.93	△ 98,861,000
その他の収入	730,117,000	9.83	730,415,399	9.40	△ 298,399
資金収入調整勘定	△ 1,037,275,000	△ 13.95	△ 1,084,720,923	△ 13.95	47,445,923
(小計)	(7,429,342,000)	(100.00)	(7,770,871,010)	(100.00)	(△ 341,529,010)
前年度繰越支払資金	1,464,297,000		1,464,297,576		△ 576
収入の部合計	8,893,639,000		9,235,168,586		△ 341,529,586

【支出の部】					
科 目	予 算		決 算		差 異 金 額
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	
人件費支出	3,805,331,000	45.52	3,462,343,915	41.75	342,987,085
教育研究経費支出	1,256,674,000	15.03	1,182,346,985	14.26	74,327,015
管理経費支出	233,113,000	2.79	222,029,675	2.68	11,083,325
施設関係支出	347,550,000	4.16	344,048,713	4.15	3,501,287
設備関係支出	160,740,000	1.92	200,787,542	2.47	△ 44,047,542
資産運用支出	2,262,239,000	27.06	2,843,919,000	34.29	△ 581,680,000
その他の支出	402,313,000	4.81	426,273,638	5.14	△ 23,960,638
[予備費]	(35,753,000)				264,247,000
資金支出調整勘定	△ 264,247,000	3.16			
資金支出調整勘定	△ 371,900,000	△ 4.45	△ 393,217,075	△ 4.74	21,317,075
(小計)	(8,360,307,000)	(100.00)	(8,292,532,393)	(100.00)	(67,774,607)
次年度繰越支払資金	533,332,000		942,636,193		△ 409,304,193
支出の部合計	8,893,639,000		9,235,168,586		△ 341,529,586

平成20年度(第37期)消費収支決算総括表(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:円)

【消費収入の部】					
科 目	予 算		決 算		差 異 金 額
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	
学生生徒等納付金	3,573,533,000	54.36	3,574,022,500	52.13	△ 489,500
手数料	26,940,000	0.41	22,884,595	0.33	4,055,405
寄附金	37,100,000	0.56	47,616,277	0.69	△ 10,516,277
補助金	523,931,000	7.97	517,193,100	7.54	6,737,900
国庫補助金	523,846,000	-	517,121,000	-	6,725,000
地方公共団体補助金	85,000	-	72,100	-	12,900
資産運用収入	820,383,000	12.48	831,003,094	12.12	△ 10,620,094
事業収入	1,487,665,000	22.63	1,711,305,482	24.96	△ 223,640,482
雑収入	104,398,000	1.59	151,333,563	2.23	△ 46,935,563
(帰属収入合計)	(6,573,950,000)	(100.00)	(6,855,358,611)	(100.00)	(△ 281,408,611)
基本金組入額合計	△ 1,268,145,000		△ 1,470,376,854		202,231,854
消費収入の部合計	5,305,805,000		5,384,981,757		△ 79,176,757

【消費支出の部】					
科 目	予 算		決 算		差 異 金 額
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	
人件費	3,917,662,000	63.62	3,382,947,128	64.04	534,714,872
教育研究経費	1,713,968,000	27.84	1,639,089,900	31.03	74,878,100
管理経費	261,556,000	4.25	250,208,367	4.74	11,347,633
資産処分差額	0	0.00	9,441,649	0.18	△ 9,441,649
徴収不能額	0	0.00	730,400	0.01	△ 730,400
[予備費]	(35,753,000)	4.29			264,247,000
(消費支出の部合計)	(6,157,433,000)	(100.00)	(5,282,417,444)	(100.00)	(875,015,556)
当年度消費支出超過額	851,628,000		0		
当年度消費収入超過額	0		102,564,313		
前年度繰越消費収入超過額	3,886,142,000		3,886,142,955		
基本金取崩額	0		143,216,413		
翌年度繰越消費収入超過額	3,034,514,000		4,131,923,681		

貸借対照表(平成21年3月31日)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	[51,568,325,344]	[49,666,350,748]	[1,901,974,596]
有形固定資産	(10,474,491,753)	(10,395,566,157)	(78,925,596)
土地	2,853,955,052	2,853,955,052	0
建物	4,267,052,750	4,394,720,658	△ 127,667,908
構築物	223,298,143	240,389,638	△ 17,091,495
教育研究用機器備品	1,352,564,866	1,431,276,447	△ 78,711,581
その他の機器備品	29,136,772	27,514,545	1,622,227
図書	1,478,129,017	1,446,231,270	31,897,747
車 輛	2,485,153	1,478,547	1,006,606
建設仮勘定	267,870,000	0	267,870,000
その他の固定資産	(41,093,833,591)	(39,270,784,591)	(1,823,049,000)
電話加入権	1,705,991	1,705,991	0
敷金保証金	17,850,000	17,850,000	0
有価証券	2,395,657,600	1,695,758,600	699,899,000
退職給与引当特定資産	2,250,500,000	2,250,500,000	0
減価償却引当特定資産	8,946,000,000	8,946,000,000	0
施設設備充実引当特定資産	3,100,000,000	3,100,000,000	0
第2号基本金引当資産	7,600,000,000	7,000,000,000	600,000,000
第3号基本金引当資産	16,362,120,000	15,838,970,000	523,150,000
第4号基本金引当資産	420,000,000	420,000,000	0
流動資産	[1,508,333,770]	[1,946,558,061]	(△ 438,224,291)
現金預金	942,636,193	1,464,297,576	△ 521,661,383
債券等短期運用資産	198,680,000	0	198,680,000
未収入金	311,015,523	425,261,753	△ 114,246,230
貯蔵品	1,926,016	1,635,536	290,480
短期貸付金	0	216,136	△ 216,136
前払金	54,076,038	55,147,060	△ 1,071,022
資産の部合計	53,076,659,114	51,612,908,809	1,463,750,305

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	[2,375,203,345]	[2,454,600,132]	(△ 79,396,787)
退職給与引当金	2,372,672,257	2,452,069,044	△ 79,396,787
長期預り金	2,531,088	2,531,088	0
流動負債	[1,322,397,743]	[1,352,191,818]	(△ 29,794,075)
未払金	364,882,158	369,613,049	△ 4,730,891
前受金	771,411,000	772,975,000	△ 1,564,000
預り金	186,104,585	209,603,769	△ 23,499,184
負債の部合計	3,697,601,088	3,806,791,950	△ 109,190,862

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	20,865,014,345	20,661,003,904	204,010,441
第2号基本金	7,600,000,000	7,000,000,000	600,000,000
第3号基本金	16,362,120,000	15,838,970,000	523,150,000
第4号基本金	420,000,000	420,000,000	0
基本金の部合計	45,247,134,345	43,919,973,904	1,327,160,441

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	[4,131,923,681]	[3,886,142,955]	[245,780,726]
消費収支差額の部合計	4,131,923,681	3,886,142,955	245,780,726

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	53,076,659,114	51,612,908,809	1,463,750,305

- 重要な会計方針
 - 引当金の計上基準
 - 退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末支給額2,706,616,198円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。
 - 徴収不能引当金

未収入金等の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

- 減価償却額の累計額の合計額 10,512,547,187円
- 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 27,602,416円
- その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項
 - 関連当事者との取引
 - 記載すべき関連当事者との取引はない。

財産目録総括表(平成21年3月31日)

(単位:円)

資産の部		金 額
Ⅰ.基本財産		34,766,506,236
固定資産		34,766,506,236
(1)有形固定資産		10,382,680,245
(2)その他の固定資産		24,383,825,991
Ⅱ.運用財産		18,310,152,878
1.固定資産		16,801,819,108
(1)有形固定資産		91,811,508
(2)その他の固定資産		16,710,007,600
2.流動資産		1,508,333,770
資産の部合計		53,076,659,114

負債の部		金 額
Ⅰ.固定負債		2,375,203,345
退職給与引当金		2,372,672,257
長期預り金		2,531,088
Ⅱ.流動負債		1,322,397,743
未払金		364,882,158
前受金		771,411,000
預り金		186,104,585
負債の部合計		3,697,601,088
差引正味財産		49,379,058,026
負債の部合計及び差引正味財産合計		53,076,659,114

※資金収支計算書 :当該会計年度の諸活動に対するすべての資金の収支を明らかにするものです。
 ※消費収支計算書 :民間企業の損益計算書に該当するもので、財政の健全性を測定する尺度となります。
 ※貸借対照表 :当該会計年度の資産及び負債・基本金・消費収支差額の状況を表すものです。
 ※財産目録 :当該会計年度末の資産及び負債の状況を表すものです。

※帰属収入 :学生生徒等納付金、寄附金、補助金その他の学校法人の負債とならない収入です。
 ※消費支出 :人件費、教育研究経費、管理経費などの学校法人の経常的支出です。
 ※人件費比率 : (人件費 / 帰属収入) × 100
 ※帰属収支差額比率 : [(帰属収入 - 消費支出) / 帰属収入] × 100

公開講座のご案内

●福岡歯科大学公開講座●

「お口とからだの健康管理からはじめる長寿 —歯周病から脳卒中まで—

日 時：平成21年10月18日(日)13:00～16:00
場 所：福岡県歯科医師会館(福岡市中央区大名)

- 1.「歯がたくさん残った人ほど長寿か？」
— 全国歯科医師の健康調査からわかったこと —
講師：内藤 徹(福岡歯科大学高齢者歯科学分野・准教授)
- 2.「口腔内科—お口の病気とからだの病気—」
講師：池邊 哲郎(同大学口腔外科学分野・教授)
- 3.「脳卒中による言語・嚥下の障害」
講師：大星 博明(同大学内科学分野・教授)

- 定員100名、受講料・参加料は無料
- 公開講座への申込方法
参加希望の公開講座名、氏名・年齢・性別・住所・電話番号を明記の上、電話、FAX、E-mailまたははがきで下記宛にお申込ください。
受講票をお送りします。
- 申込先 福岡歯科大学 企画課
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1
電話：092-801-0411(代表)/FAX:092-801-3678
E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp

●地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム●

日 時：平成21年11月7日(土)13:00～16:00
場 所：中村学園大学

テーマ：がん予防のエッセンス —がんにならないための生活習慣—
地下鉄七隈線沿線の福岡大学、中村学園大学、本学の三大学が行う合同シンポジウムです。今年は中村学園大学で行います。各大学がその特質を活かし、医科、食(栄養)、歯科の専門分野から分かりやすく話します。第2部の参加者と講師とのパネルディスカッションは、年々好評を得て、大いに盛り上がります。

- 受講料・参加料は無料
- 申込方法
電話またはFAXにて住所・氏名・電話番号をお知らせください。
- 問合せ・申込先
中村学園大学学事課 TEL092-851-2531 FAX092-841-7762

●第9回福岡医療短期大学公開講座●

要介護者の生活支援

—要介護者を支える介護現場での連携について—

日 時：平成21年9月27日(日)13:00～16:30
場 所：福岡医療短期大学307教室(福岡市早良区田村)

- I.講演
- 講演1：介護からの提言
講師：福岡県介護福祉士会 会長 因 利恵
- 講演2：介護における他職種との実践的取り組み
講師：福岡県介護支援専門員協会 理事 諸石和代
- 講演3：介護への取り組み—歯科衛生士の立場から—
講師：小倉南歯科医院 歯科衛生士 斉藤幸恵
- II.総合討論
- 受講料・参加料は無料(定員になり次第、締め切らせていただきます。)
 - 参加申込：7月21日～9月18日まで
 - 申込方法
氏名・参加人数・住所・連絡先を明記の上、FAXまたはE-mailで下記にお申込ください。
 - 申込先 福岡医療短期大学 公開講座委員会
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1
電話：092-801-0923/FAX:092-801-4473
E-mail:koukai09@college.fdcnet.ac.jp
件名に「公開講座申込」とお書きください。

●第5回健康まるごと福岡歯科学園●

日 時：平成21年10月24日(土)、25日(日)
場 所：福岡歯科大学

福岡歯科学園では、医療・保健・介護のみではなく、より広い分野での地域貢献を果たすため、「健康まるごと福岡歯科学園」を開催します。

- 「田の歯科祭」
- 「講演会」
- 「からだの科学展」
- 「医科ミニ講座・歯科無料相談」
- 「介護無料相談・介護施設見学」
- 短大企画
など盛りだくさんの内容で、皆さんのご来場をお待ちしています。



短大企画「お姉さんと歯磨き」

- 問合せ先
福岡歯科大学 企画課
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1
電話：092-801-0411(代表)/FAX:092-801-3678
E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp

お口と歯の無料相談

歯の衛生週間にちなみ、「お口と歯の無料相談」(担当責任者：高橋裕教授・有床義歯学分野)が6月7日(日)に、福岡市早良区の西新エルモールプラザ7階で開催されました。会場では、福岡歯科大学医科歯科総合病院の歯科医師、歯科衛生士だけでなく、内科や耳鼻咽喉科の医師が来場者の歯や口腔、内科や耳鼻咽喉科に関する悩みや質問に答えていました。来場者数は101人でした。

また、同日福岡県歯科医師会館(福岡市中央区)において開催された「福岡市民の歯を守る集い」(主催：福岡市、福岡市歯科医師会他)に本学教職員が参加、小児歯科や口腔外科だけでなく禁煙、口臭などの相談に応じました。



来場者の相談を受ける本学職員(お口と歯の無料相談)



禁煙相談のコーナー(福岡市民の歯を守る集い)

《平成21年度 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 科学研究費補助金の交付一覧》

文部科学省、日本学術振興会から交付される平成21年度の科学研究費補助金対象研究等が次のとおり決定しました。

研究種目	所属講座	職名	氏名	決定額 (直接経費+間接経費) (単位:千円)	研究課題	
基盤研究(B)	咬合修復学	准教授	松浦尚志	3,770	インプラント予知診断のための顎骨骨膜分析法の開発	
	歯科医療工学	准教授	福島忠男	4,160	DNA/ポリカチオン複合体を素材にしたインジェクション型スキャフォールド材の開発	
	細胞分子生物学	教授	岡部幸司	3,380	破骨細胞分化を制御するCa ²⁺ オシレーション形成と転写因子NFATの調整機構	
	咬合修復学	教授	佐藤博信	3,250	コラーゲン生化学的症候に起因する歯槽骨の表現型とその加齢変化パターンの同定	
	成長発達歯学	教授	石川博之	4,160	bFGFによる口蓋裂術後癒着形成の制御に関する基礎的研究	
基盤研究(C)	咬合修復学	教授	高橋裕	1,430	ガラス繊維強化型コンポジット(FRC)の開発と義歯応用への実用化に向けた検討	
	医療人間学	准教授	永嶋哲也	1,950	哲学的愛とキリスト教的愛そして恋愛の誕生	
	細胞分子生物学	講師	大久保つや子	1,950	T型Caチャンネル遺伝子methylationによる機能修飾とがん細胞における役割	
	機能生物化学	教授	上西秀則	2,730	酵母から発見した新規NADの神経細胞分化誘導・保護作用に関する研究	
	歯科医療工学	助教	川口稔	2,860	ナノカーボン分子ヒーターによる組織再生促進モデルの構築	
	成長発達歯学	准教授	塚本末廣	2,470	口腔乾燥の改善に関する研究	
	咬合修復学	准教授	清水博史	2,080	異種高分子材料で構成する新しい補綴装置の開発	
	生体構造学	講師	大野純	1,950	口腔粘膜免疫疾患におけるエフェクター細胞の上皮指向性機序の解明	
	細胞分子生物学	講師	岡本富士雄	1,820	Ca ²⁺ 透過性イオンチャンネル(TRP)による破骨細胞のアポトーシス誘導機序の解明	
	咬合修復学	教授	松浦正朗	4,160	デジタル映像を用いた顔面補綴物(エビテーゼ)の誘目性低下に対する研究	
	生体構造学	准教授	岡村和彦	2,080	クロライドチャンネル関連分子CLCA1による細胞増殖・接着の制御	
	細胞分子生物学	講師	鍛冶屋浩	1,690	破骨細胞酸分泌を調節する新規分子の探索とその調節機序解析	
	口腔治療学	教授	阿南壽	2,600	生体活性ガラスを応用した根尖部歯周組織再生療法の開発	
	診断・全身管理学	助教	三輪邦弘	910	頸部腫脹リンパ節を用いた超音波組織性状態診断システムの開発	
	咬合修復学	准教授	城戸寛史	910	透明プラスチックインプラントを用いた骨結合達成スピードの動的評価	
	生体構造学	准教授	敦賀英知	1,170	歯根膜の伸展刺激に応答するfibulinがオキシタラン線維の制御に果たす役割	
	医療人間学	教授	壬生正博	650	中世異界夢文学と黙示文学との比較研究を基盤とした異界図像集作成	
	細胞分子生物学	教授	日高真純	1,560	新規アポトーシス誘導因子の単離とその分子機能解析	
	機能生物化学	教授	早川浩	1,430	RNAの酸化損傷の抑制と酸化RNA排除機構	
	口腔治療学	准教授	泉利雄	910	生体活性ガラス添加試作リン酸カルシウムセメントの歯内治療への応用	
	総合歯科学	准教授	米田雅裕	1,560	根尖病変における細菌凝集活性の意義	
	口腔・顎顔面外科学	教授	池邊哲郎	1,560	生活環境ストレスによる舌粘膜の分子的損傷の診断法についての基礎的研究	
	総合歯科学	准教授	内藤徹	1,430	歯周メインテナンスは全身のQOLの維持につながるか?	
	診断・全身管理学	教授	湯浅賢治	1,560	咀嚼筋の生理・生化学的的特性の画像化によるブラキズム性状評価システムの構築	
	歯科衛生学科	准教授	※井上勇介	1,040	DNA/キトサン/脂質複合体を用いたマルチレイヤーGTR、GBRメンブレンの開発	
	歯科衛生学科	教授	※日高三郎	650	毎日の食事と食物成分が歯石形成を促進する可能性	
	挑戦的萌芽研究	口腔・顎顔面外科学	教授	大関悟	1,600	炎症性サイトカインシグナルSTATの扁平上皮癌におけるinvivo評価法の開発
		口腔保健学	教授	埴岡隆	900	口腔の兆候の認知は生活習慣予防のための行動受容とその維持に役立つか?
		歯科医療工学	准教授	福島忠男	1,500	DNA/人工タンパク質複合体の透明フィルム化と軟組織再生用材料への応用
	若手研究 (スタートアップ)	機能生物化学	助教	永尾潤一	1,560	カンジダの新規ストレス応答蛋白質によるクオラムセンシングを介した病原性発現制御
放射線科		医員	福成史子	1,534	MRIにおける頸部リンパ節転移の確率表記診断システムの構築	
若手研究(B)	口腔治療学	助教	茂山千英子	1,950	根尖病変のフレアアップと唾液中ストレスホルモンの関連の解明	
	咬合修復学	助教	後藤加寿子	1,040	咬合性外傷モデルマウスを用いたケモカイン発現と顎骨吸収との相関解析	
	咬合修復学	助教	片瀨三千綱	3,250	新規アプローチによる骨再生誘導法開発	
	放射線室	診療放射線技師	市原隆洋	910	MRIのトラクトグラフィーを指標とした下顎枝矢状分割術後の知覚異常評価法の確立	
	口腔・顎顔面外科学	助教	多田剛之	2,340	口腔扁平上皮癌による顎骨浸潤メカニズムの解明と顎骨浸潤抑制剤の確立	
	口腔・顎顔面外科学	助教	橋本憲一郎	780	SCCA発現亢進/抑制による口腔扁平上皮癌細胞の形質変化の解析	
	口腔保健学	講師	晴佐久悟	1,170	舌症状を重視した生活習慣改善指導の効果	
	口腔・顎顔面外科学	助教	片山知子	1,690	骨吸収因子RANKLと骨形成因子BMPの発現に及ぼす歯周病原性細菌の関与の解明	
	口腔治療学	助教	榮田太郎	780	生体活性ガラスを用いたラット歯根端切除部の治癒機転に関する病理組織学的研究	
	口腔治療学	助教	福島晶絵	1,040	SOCSファミリー-新規相互作用因子の検索と機能解析	
	咬合修復学	助教	津江文武	1,690	FRCフレームワークを利用した、直接法による検査子作製方法の開発	
	口腔・顎顔面外科学	助教	福沢秀昭	1,560	口腔扁平上皮癌および口腔粘膜前癌病変におけるS100A7タンパクの発現解析	
	成長発達歯学	助教	井上庸子	1,170	"矯正力による痛み"に関する神経の支配領域に関する研究	
	成長発達歯学	講師	玉置幸雄	1,170	複数の顔をノルムとした新しい矯正診断システムの構築	
	成長発達歯学	助教	秦雄一郎	1,300	サイトカインによる口蓋骨欠損ラットに対する骨移植後の生着効果	
	口腔保健学	助教	山本未陶	780	学齢期のブラッシングの自己管理スキル向上は成人の生活習慣病予防につながる	
	生体構造学	医員	岡暁子	2,080	口蓋裂発症分子メカニズム解明し、組織学的治療法開発を目指す研究	

注) 氏名欄の※印は、福岡医療短期大学所属教員を示す。

科学研究費補助金(科研費)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、ピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)により、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

上海交通大学口腔医学院との乾杯交流・続編

成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野 柳田 憲一

この3月に池邊教授(口腔外科学分野)を団長として、本学の第5学年(当時)8人と一緒に上海交通大学口腔医学院の研修訪問を行ったことを受けて、平成21年4月19日から26日までの8日間、同大学より教員3人、学生5人が本学を訪れました。教員の3人の先生方は、矯正科教授沈剛先生、口腔内科(歯科保存学)教授東蓉先生、口腔病理学准教授王麗珍先生で、上海交通大学口腔医学院の紹介や、ご自身の研究、教育、臨床について興味深いご講演をそれぞれいただきました。また、口腔

医学に関して口腔医学推進プロジェクトチームのメンバーとの情報交換も行われました。上海交通大学の5人の学生は分かれて、それぞれいろいろな診療科を回って臨床を勉強したり、学生の講義にも出席するなど、たくさんのごを感じ取ってくれたものと思います。上海交通大学と一緒に訪問した学生諸君は、日中は学生の本分である勉学に勤しみ、放課後の短い時間を精一杯使って、食事やショッピング、野球観戦などを通じてさらに友情と交流を深めていたようです。

彼らも同じように日本の文化にさぞびっくりしたことでしょう。

3月と4月の2ヵ月にまたがる交流を通して、共にした時間は合計2週間と長くはありませんが、本当に多くのかけがえのないものを得られたと感じたのは私だけではないはずです。これからも私たちと同じような経験をする人がますます増えてくれば、福岡歯科大学と上海交通大学との絆はさらに深まっていくものと信じます。

最後に、今回の交流にご尽力された全ての方々に心より感謝申し上げます。



対面式で記念撮影

帰国の前日には、早朝より世界最大のカルデラである阿蘇観光を行いました。あいにくの雨模様で山頂は霧が深く、数メートル先も見えないほどでとても残念でした。しかし、気を取り直して訪れた熊本の杖立温泉では雨もあがり、とてもたくさんの鯉のぼりが温かく出迎えてくれました。日本の伝統文化に興味深そうに、何度も足を止めてはさかんにカメラに収めていたようです。私たちが中国の文化にとってもびっくりしましたが、



杖立温泉のこいのぼり

東釜山大学学生が短大を訪問

5月14日、姉妹校である東釜山大学歯衛生科から教員と学生39人が福岡医療短期大学を訪れ、学内見学の後、歯科衛生学科第3学年が催した交流会に参加しました。両校は毎年相互に訪問し教員、学生間の交流を深めています。交流会ではそれぞれの大学の紹介や歌を披露するなど、慣れない日本語、韓国語や英語でコミュニケーションを図りながらも、楽しい一時を過ごしました。



両校の学生と一緒に記念撮影!

海外研修派遣

【福岡歯科大学】

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
総合歯科学	講師	内藤 徹	Euro Perio 6 (ヨーロッパ歯周病連合研究会)にて発表のため	ストックホルム (スウェーデン)	自:H.21.6.2 至:H.21.6.8
成育小児歯科学	教授 講師	本川 渉 柳田 憲一	22th Congress of the International Association of Pediatric Dentistry in Munichにおける発表のため	ミュンヘン (ドイツ)	自:H.21.6.15 至:H.21.6.23
画像診断学	教授 助教 大学院生	湯浅 賢治 三輪 邦弘 白石 朋子	第17回国際歯顔面放射線学会にて発表のため	アムステルダム (オランダ)	自:H.21.6.28 至:H.21.7.4
口腔腫瘍学 矯正歯科学	教授 教授	大関 悟之 石川 博之	ミャンマー連邦国ヤンゴン歯科大学との姉妹校提携に基づく交流 1.ヤンゴン歯科大学とマンダレー歯科大学において口腔外科学の講義を行うため 2.ヤンゴン歯科大学と福岡歯科大学との姉妹校提携に基づく今後の交流に関する打ち合わせ会議のため	ヤンゴン マンダレー (ミャンマー連邦国)	自:H.21.7.19 至:H.21.7.26
有床義歯学	教授	高橋 裕	37th annual of the Scandinavian Society for Prosthetic Dentistryにて発表のため	ナーンタリ トゥルク (フィンランド)	自:H.21.8.26 至:H.21.9.3
麻酔管理学	准教授	真鍋 庸三	第12回 International Dental Congress on Modern Pain Controlにて発表のため	ゴールドコースト (オーストラリア)	自:H.21.10.10 至:H.21.10.18
有床義歯学	大学院生	川口 智弘	留学(「加熱重合型レジンと純チタン及びCo-Cr合金の接着強さ」についての研究)	トゥルク大学 トゥルク (フィンランド)	自:H.21.4.1 至:H.22.3.31

昇任・新任教員紹介

やまざき じゅん

山崎 純 教授
分子機能制御学分野

略歴

東京大学薬学部卒。
同大学院薬学系研究科
博士課程修了後、同大
学助手。米国ネバダ大学留学。福岡歯科大学
准教授を経て平成21年7月1日教授に就任。薬
学博士。東京都出身。

ないとう とおる

内藤 徹 准教授
高齢者歯科学分野

略歴

九州歯科大学歯学部卒。
同大学院修了。米国テン
ブル大学研究員、九州歯
科大学助手、福岡歯科大学講師を経て平成
21年7月1日同大学准教授就任。博士(歯学)。
愛知県出身。

しおの まさあき

塩野 正明 准教授
材料工学分野

略歴

九州大学理学部卒。
英国ヨーク大学博士課
程修了。同大学物理学
科助手、九州大学理学部物理学科助教を経
て平成21年7月1日福岡歯科大学准教授に就任。
PHD。秋田県出身。

福岡歯科大学特待生

福岡歯科大学の平成21年度特待生に次の6人が選ばれました。
特待生は、平成20年度の学業成績が特に優秀であり、品行方正、かつ健康で
あることを加味決定され、その年度の授業料の半額が免除されます。

第2学年
柴田 華衣第3学年
二反田 詩織第4学年
榎坂 佳子第4学年
高野 愛子第5学年
橋本 明枝第6学年
村上 千尋

平成21年度大学院特別奨学生等

◇福岡歯科大学大学院特別奨学生(修学資金として毎月16万円を支給)
として次の12人を決定しました。

第4学年 長谷川 綾(矯正歯科学) 第2学年 大城希美子(歯周病学)
第4学年 松本 典祥(歯科保存学) 第2学年 岡本 愛彦(口腔外科学)
第4学年 白石 朋子(画像診断学) 第2学年 川口 智弘(有床義歯学)
第3学年 中島 一記(矯正歯科学) 第1学年 坂井 拓弥(口腔インプラント学)
第3学年 中山 修二(口腔外科学) 第1学年 西村 紗和(矯正歯科学)
第3学年 吉田 兼義(有床義歯学) 第1学年 堀越恵美子(矯正歯科学)



◇福岡歯科大学大学院奨学生(奨学金として授業料相当額70万円を支給)
として次の10人を決定しました。

第3学年 岩元 知之(総合歯科学) 第3学年 別府 健介(口腔インプラント学)
第3学年 来海慶一郎(口腔外科学) 第3学年 山口 和勇(生化学)
第3学年 佐々木美智子(冠橋義歯学) 第2学年 天野 郁子(障害者歯科学)
第3学年 畑 実(障害者歯科学) 第2学年 今泉 友里(障害者歯科学)
第3学年 福岡 宏士(冠橋義歯学) 第2学年 根本 哲臣(有床義歯学)

福岡歯科大学AO入試学術奨励金支給者

平成21年度AO入学試験
における成績が特に優秀
であったので、AO入学試
験学術奨励金(年額120
万円)を下記2人へ支給
することとしました。

◇第1学年



末永 恵理加



中原 亜由美

福岡医療短期大学特別奨学生

福岡医療短期大学 ◇歯科衛生学科 第2学年
の平成21年度特別
奨学生に次の7人が
選ばれました。
特別奨学生は、その
年度の授業料の半
額が免除されます。



永岡 秀子



富 レイラ



城山 綾乃

◇保健福祉学科
第2学年

藤 雪絵



吉永 綾子



立花 真美



高島 朋子

◇歯科衛生学科第3学年

福岡歯科大学大学院RA、TA決定

福岡歯科大学大学院の平成21年度リサーチアシスタント(RA)及びティーチングアシスタント(TA)に次の方の採用が決定され、6月30日、辞令交付式が行われました。(手当として年額27万円を支給されます。)

◇リサーチアシスタント(RA)

第4学年 井上知加予(矯正歯科学) 第4学年 向坊 友宏(矯正歯科学)
第4学年 岩澤 佳奈(矯正歯科学) 第4学年 白石 朋子(画像診断学)
第4学年 長谷川 綾(矯正歯科学) 第3学年 山口 和勇(生化学)
第4学年 松本 典祥(歯科保存学)

◇ティーチングアシスタント(TA)

第3学年 岩元 知之(総合歯科学) 第2学年 天野 郁子(障害者歯科学)
第3学年 来海慶一郎(口腔外科学) 第2学年 今泉 友里(障害者歯科学)
第3学年 佐々木美智子(冠橋義歯学) 第2学年 大城希美子(歯周病学)
第3学年 中島 一記(矯正歯科学) 第2学年 岡本 愛彦(口腔外科学)
第3学年 中山 修二(口腔外科学) 第2学年 酒井亜希子(成育小児歯科学)
第3学年 畑 実(障害者歯科学) 第2学年 中富 佑香(矯正歯科)
第3学年 福岡 宏士(冠橋義歯学) 第2学年 根本 哲臣(有床義歯学)
第3学年 別府 健介(口腔インプラント学) 第2学年 野田 雄也(障害者歯科学)
第3学年 吉田 兼義(有床義歯学) 第2学年 榊尾 陽介(総合歯科学)

第12回福岡歯科学園体育祭

5月29日、福岡歯科大学・福岡医療短期大学の共同開催で福岡歯科学園体育祭が開催されました。グラウンドでは、サッカー、体育館では、クラブ対抗リレー、玉入れ・バスケットボール・バレーボールの各種競技が行われ、各競技とも熱戦が繰り上げられました。

種目	区分	優勝	準優勝
バレーボール	男子	大学第2学年	大学第3学年
	女子	短大(歯科衛生学科)第2学年	短大(歯科衛生学科)第3学年
バスケットボール	男子	大学第6学年	大学第3学年
	女子	短大(歯科衛生学科)第3学年	大学第3学年
サッカー	男子	大学第3学年	大学第2学年
玉入れ	男女共通	大学第2学年	短大(歯科衛生学科)第3学年
クラブ対抗リレー	男子	バスケットボール部	バレーボール部
	女子	バレーボール部	バスケットボール部



クラブ対抗リレー



バスケットボール



玉入れ



表彰式

第41回歯学体夏期部門

第41回全日本歯科学学生総合体育大会夏期部門(事務主管 明海大学 歯学部)が、8月1日から8月12日にかけて埼玉県を中心に各地で開催されます。

各競技と会場は下表のとおりです。

部門名	日程	会場
硬式野球	8月1日(土)～8月7日(金)	上柚木野球場(東京) 府中市民球場(東京) 多摩公園球場(東京)
硬式庭球	8月1日(土)～8月6日(木)	白子町テニスコート(千葉)
サッカー	8月1日(土)～8月7日(金)	清瀬市内山運動公園サッカー場(東京)
ゴルフ	8月8日(土)～8月10日(月)	栗石ゴルフ場(岩手)
バドミントン	8月2日(日)～8月7日(金) (2日は練習日等)	熊谷スポーツ文化公園(埼玉)
バレーボール	8月3日(月)～8月7日(金) (3日は練習日等)	所沢市民体育館(埼玉)
バスケットボール	8月3日(月)～8月7日(金)	行田市民体育館・深谷市民体育館(埼玉)
ボウリング	8月2日(日)～8月5日(水) (2日は練習日等)	品川プリンスボウリングセンター(東京)
柔道	8月7日(金)～8月9日(日) (7日は練習日等)	埼玉県立武道館
剣道	8月7日(金)～8月9日(日) (7日は練習日等)	埼玉県立武道館
弓道	8月1日(土)～8月5日(水) (1日は練習日等)	埼玉県立武道館
空手道	8月1日(土)～8月2日(日) (1日は練習日等)	埼玉県立武道館
水泳	8月7日(金)～8月9日(日) (7日は練習日等)	博多の森アクション(福岡)
ヨット	8月1日(土)～8月2日(日)	海陽ヨットハーバー(愛知県蒲郡市)

共用試験(OSCE、CBT)実施

臨床実習前の第5学年94人は平成21年度共用試験として6月28日にOSCE(技能・態度を客観的に評価する臨床能力試験)並びに7月3日にCBT(知識・思考力(問題解決能力)を問う多肢選択式試験でコンピュータを使った試験)を受験しました。この共用試験は、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる基本的知識と問題解決能力、基本的技能と基本的態度を評価し、患者さんにとって安全であり、学生にとって学びの多い臨床実習を行うために実施するものです。

「地下鉄乗車マナー向上キャンペーン」に参加

6月12日、福岡歯科大学ラグビー部の6人は、福岡市交通局が行っている「地下鉄乗車マナー向上キャンペーン」に参加しました。福岡歯科大学の最寄駅である市営地下鉄七隈線「賀茂」駅で、たすきを肩にかけた学生は、乗降客に地下鉄乗車のマナー向上への協力を呼びかけました。



キャンペーンに参加した学生たち

第7回サンシャインシティ大運動会

6月28日、介護老人保健施設サンシャインシティ1階デイケア・リハビリフロアで第7回大運動会が開催されました。この運動会は競技を通じて入所者間の親睦と、職員と入所者のご家族との交流を深め、さらにはご家族へ施設看護・介護について理解を深めていただく目的で毎年行っています。今年は障害物競走、綱引きや応援合戦などの競技が行われ、入所者やそのご家族、ボランティアや職員は楽しい一日を過ごしました。



ご家族、職員とボランティアの学生が参加した綱引き

From The Alumni Association

同窓会だより

福岡歯科大学長崎県同窓会（歯ってん会）



講演される本川病院長

福岡歯科大学長崎県同窓会（歯ってん会）は田川明（5期生）会長を中心に会員113名で力を合わせてがんばっています。

活動内容については「歯ってん会のホームページ」をご参照下さい。

(<http://homepage2.nifty.com/hatten/>)

今年度、田川明（5期生）先生が長崎県歯科医師会の専務理事に、七熊正（4期生）先生が佐世保市歯科医師会の会長に就任、また多くの卒業生が歯科医師会の役職に就き、福岡歯

科大学出身の先生方が長崎県の地域歯科医療充実のために大きな力を発揮しています。

そして、今年も平成21年4月25日（土）、長崎ワシントンホテルにおいて総会を開催しました。総会後の学術講演会には福岡歯科大学医科歯科総合病院、本川渉病院長をお招きし「最近の小児歯科臨床」の演題で講演して頂きました。

講演内容は福岡歯科大学の現状、国家試験の結果、そして昭和48年開校からの小児歯科の臨床を多くのスライドを使用して講演していただきました。

これまでの小児歯科学の進歩、社会医療環境の変化を考えても、本川先生が開校時より行われてきた小児治療が最先端であったということをご再認識させていただきました。今後も歯科治療に際し歯科医師・歯科衛生士の意識向上を図り、今後「歯科」が進むべき道を述べられ

た講演でした。

近年、日本の少子高齢化、そして診療報酬にも現れるように歯科界は暗いトンネルに入り込み出口を見つけられない状態です。歯科の基本を忘れずに今後の歯科の発展を目指すことを考えさせられた講演でした。

田中 靖彦（12期）



歯ってん会の皆さん

同窓会通信 「同窓会学術委員会から」

皆様こんにちは。夏を迎えてのこの時期、如何お過ごしでしょうか。

日頃より同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年も、11月1日（日曜日）、東京都開業の黒田昌彦先生をお招きし、「救歯臨床のスズメ歯を救って長期に守る」と題し、かかりつけ歯科医としての長期症例の学術講演を企画しております。

本年2月8日開催の「エビデンスに基づいたこれからの歯科治療—インプラント最前線と歯周組織の再生と咬合—」では、歯周病学分野の坂上竜資教授・口腔インプラント科の城戸寛

史准教授・口腔顔面美容医療センターの松永興昌講師という学内講師陣のみにお願いをいたしました。

ところで、新学長の北村憲司先生は、ポストグラジュエートのような研修システムの構想をお持ちになられておられますので、学術委員会といたしましては実現に向け、大いに期待しているところであります。

大学との連携で、そのような企画が実現できれば、母校に残られている後輩諸氏がその専門知識や得意な分野を更に充実・発展させることに繋がると考えますし、また同窓生にとりましても日々の診療の中で大いに福音をもたらす

ことになろうと思われまので、是非ご協力させていただきますと考えております。

学術委員会は、常に研修・研鑽効果の高い企画をと心がけておりますが、学術講演ならびに臨床セミナーの内容につきましては、皆様方のご要望やご期待に十分お応えできていないのではないかと平素より自問自答いたしております。皆様から、是非活発なご意見を同窓会室へお寄せいただき、今後の企画に反映して参りたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願いいたします。

常務理事

岩本 憲明（2期）

卒業生トーク

「桜」 田村 俊二（1期）



私の医院の駐車場に、一本の桜の木があります。樹齢50年、幹回り1mを超える巨木であり、日立何の木メロディーの様で、毎年見事なまでの花を咲かせてくれます。私の成長を見守り続け、子供達も共に成長、長女は薬剤師、長男は歯科医、次男と次女は教師を目指し、満開の桜の下、我家を巣立って行き寂しくなりました。私が幼い頃、同じ背丈のこの木の側で、よく父とキャッチボールをしていた

思い出、あの球を受けた時の手の平の痛みは、今でも覚えています。父とは、四年しか一緒に仕事をする事が出来ませんでした。あの充実した日々、もっとも、続いて欲しかったものです。三年前に他界した母、その母も毎年、年を重ねる毎に、来年はこの桜の花を見る事が出来るかどうかと、弱音をはいていました。優しく母の思い出、よくこの木の下で色々な話をしたものです。またこの桜は、患者さんからも愛され、花の時期は、来院患者数が増えます。南国宮崎の台風にも耐え、

冬の寒さに震えながら、じっと春を待ち華やかな姿を見せてくれ、そしてその散り際の潔さも、見事なものです。その美しさを、さらに美しく見せるライトアップは最近評判となり、入学、卒業の子供達が、親子で写真を撮って帰ったりと嬉しい限りです。美しい、きれいとどれだけの人達に言われて来た事か、木にもそれは伝わるそうです。この様にこの桜は当院のシンボルとしてなくてはならないものになっています。しかし樹齢から考えると、もうかなりの老木であると思われ、栄養をたくさんやりながら、今はただ頑張れとエールを送る日々なのです。なぜなら子供達が、希望の国家資格を得る事が出来た日、満開の桜の下、我家恒例の家族記念写真を撮ろうと考えているからです。一日も早くその日が来る事を願いながら、最後になりましたが、学園の益々の発展と、同窓会諸氏のご健勝とご多幸を、お祈り致します。



医院駐車場の樹齢50年の桜

顧客？



こんにちは、19期の坂田英夫と申します。平成19年12月1日に祖母の出身地である、福岡県久留米市宮ノ陣の田畑に囲まれた自然豊かな地に開業し、1年半が過ぎました。地域の方々のご支援で開業でき、その後も、地域の方々や諸先輩方に可愛がっていただき、現在に至っております。

卒業後、長崎県五島勤務の為、3年間はスキューバダイビング三昧の毎日でした。時々同行する五島の薬剤師さんのHPにはアホの坂田が今日も海中にいたと書かれているほど！です。そこでは、異業種の方、特に海外にスキューバダイビングに行くと、異国の方と知り合う機会が多く、自分なりに歯科という小さな枠にとらわれない、視野を得る事ができたと思います。そこで知り合った漁師さんや、海上保安官など、現在でも友人であり、患者さんでもあります。

そこで、近頃、歯科界に感じる事ですが、自称経営コンサルタントに振り回されているのかどうかはわかりませんが、顧客、患者様、クライアントのニーズに合わせた治療とか言う言葉が氾濫しています。

地域差もあるかも知れませんが、当院に来院される、御年輩の患者さんや、自分と同年代の患者さんに、「患者様」と呼ばれる事や、クライアントと陰で呼ばれている事に対してどう思うか？と質問したところ、皆さん答えは同じでした。気持ち悪い、呼び方はいいからしっかりと治療してくれ、様付けする先生のお目の中にお金が見えるという感想です。自分も同感で嫌悪感すら覚えます。

もう一度原点に立ち返り、口中の医療を行える歯科医師として日々精進していく所存です。

さかた歯科医院(福岡県久留米市)
坂田 英夫(19期) = 文

写真上=医院外観
写真下=2人の娘と筆者



初心の気持ちを忘れずに



久留米市で平成20年8月に矯正歯科と口腔ケア専門の「はなえ矯正歯科」を開業致しました、22期卒業の若江皇絵(わかえはなえ)と申します。

研修医をしていたころ、尊敬する先生から教えられた事で今でも心に残る一言があります。それは「先人が10年かけて経験したことを次の世代は3年で学べる、そして次の10年でまた経験した内容を次の世代に引き継いでいく。このしくみこそ医療が進歩していく源なんだから3年で僕と同じレベルにまで到達しなさい。」という内容でした。

矯正歯科の世界は今でも職人気質が強く、一般歯科の先生にとっては敷居の高いような雰囲気があると思いますし、専門医を目指す場合も指導医の横で「雰囲気」を感じ取りながら自分も真似していくような世襲制に近い学び方が多いと思います。

しかしそのような性質に対して専門医自ら警笛を鳴らす先生がいる事がとても新鮮でしたし、自分も次の世代に何かを残せるように頑張らなければという思いがしました。

今ちょうど卒業して10年目の節目になり、あの時指導してくださった先生に遜色ない治療ができているだろうかかと振り返って、気づいたことがあります。“進み続けている先生には追いつけない”という事実です。

これから次の世代に足跡を残しつつ逃げ切れるかはわかりませんが、次の10年を経た時でも、仕事を始めたころの、そして開業したばかりの今の初心を忘れないで精進し続けていたいと思います。

はなえ矯正歯科(福岡県久留米市)
若江 皇絵(22期) = 文

写真上=院内風景
写真下=スタッフ一同(中央が筆者)



保護者からのメッセージ FROM PARENTS



村上 則宏 = 文

「患者さんからの手紙」

「いつもお心こめた治療賜り感謝申し上げます。老いのボロボロの歯でも色々とお考え頂き、いやしん坊の私は本当に嬉しいのでございます。毎回よみがえる歯に助けられ明るい日々を過ごしております。」

定期検診に熱心に来られている患者さんから頂いた感動の言葉です。歯科医冥利に尽きるお褒めのことばを頂き嬉しい反面、身が引き締まる思いでした。

開業して20数年が過ぎ、いろいろ大変な事も多かったのですが、たまに患者さんから頂く労いの言葉には、本当に癒されます。余命数ヶ月と宣告された寝たきりの元患者さんの息子さんから「母親の歯磨きをしてやりたいが、口が開かないのでどうしたら良いか?」と往診を依頼され「先ずは指で口

唇の緊張をとるように優しくマッサージしてから歯ブラシを入れて磨いてください。歯肉をマッサージすると唾液がでて滑りが良くなります。硬直した口にいきなり歯ブラシは痛いですよ。」と実地指導をしたところ「目から鱗です、最後の親孝行ができます。」と、とても感謝されたりと嬉しい事もたくさんありました。実際に介護現場では、口腔ケアはまだまだ浸透してないようで、誤嚥性肺炎の予防に歯科医が積極的に関わる事も必要でしょう。

最近歯学部を希望する学生が激減していると感じ残念です。歯科医も捨てたもんじゃありませんよ!歯は命、歯は健康の源、歯は若さを保ちます。こんな仕事に携わり、患者さんから労いの言葉を頂けるよう私たち先輩も頑張りますので、学生諸君もしっかり勉強して下さい。応援しています。



淵上 卓哉 = 文

「徒然」

私が福岡歯科大学と関わりをもつようになったのは、今から30年以上も前のことです。当時、受験生であった私は父に連れられて、まだ一面田んぼだらけの中で建設途中であった大学を見に行きました。私は父から福岡歯科大学の説明をいろいろと受けましたが、当時はあまり、ピンときませんでした。今考えると、父は心の中で、福岡歯科大学を受験して欲しいと思っていたのかもしれませんが。結果的には受験しなかったのですが、あれから30年以上が過ぎ、まさか自分の子供が貴大学にお世話になることとなり、何かの縁があったのだとつくづく思います。この事を一番喜んだのは、父だったのかもしれませんが。

子供が入学して驚いたのは大学と父兄との距離の短さです。貴大学における学生及び父兄に対する万全の対応に十分満足しておりますが、しかし、

学生生活においては、本人の責任が一番大事です。大学のことに關しては、ノータッチでありたいと思い、今後も本人の意思を尊重し努力を重ねてほしいと願っております。ただ、子供が実習に必要な抜去歯だけは集めようと思っております。

自分の学生生活を振り返ると、中途半端な学生であったように思われ、子供には月並みですが、勉強だけではなく、厳しさの中にも楽しいメリハリのある学生生活を送ってもらいたいと願っております。当然、一番大事な国家試験合格を目指しながら。

最後に一番好きな言葉で締めくりたいと思います。「いつも喜びを忘れずいいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」
(聖書・テサロニケの手紙)

福岡歯科大学父兄後援会 支部懇談会開催日程

平成21年度の父兄後援会支部懇談会が下記日程のとおり開催されます。各支部の総会のほか、大学からの近況報告、父兄との個別面談や意見交換などが行われます。是非ご参加ください。詳細については各支部へお問合せください。

父兄後援会支部懇談会日程

開催日	支部名	会場等
7月26日(日)	福岡県東部	13:00～のがみプレジデントホテル(飯塚市)
	宮崎県	14:00～宮崎観光ホテル(宮崎市)
8月 1日(土)	佐賀県	13:30～マリビシア(佐賀市)
	福岡県中央	15:00～福岡ガーデンパレス(福岡市)
	中部・東海 関東・東日本	13:00～八重洲倶楽部(東京都中央区)
8月 2日(日)	福岡県南部	14:00～ハイネスホテル久留米(久留米市)
	鹿児島県	13:00～ブルーウェーブイン鹿児島(鹿児島市)
8月 8日(土)	北九州	14:00～リーガロイヤルホテル小倉(北九州市)
	熊本県	14:30～熊本全日空ホテルニュースカイ(熊本市)
8月 9日(日)	福岡市	14:00～福岡ガーデンパレス(福岡市)
	長崎県	13:30～ホテルニュー長崎(長崎市)
	沖縄県	16:30～沖縄ナハナホテル(那覇市)
8月22日(土)	四国	15:00～松山全日空ホテル(松山市)
	近畿	13:00～ラマダホテル大阪(大阪市)
	大分県	13:00～大分東洋ホテル(大分市)
	山口県	12:30～山口グランドホテル(山口市)
8月23日(日)	広島県	
	山陰 岡山県	13:00～ホテルグランヴィア広島(広島市)

大学6学年激励会

6月2日、本館食堂において、第6学年の歯科医師国家試験合格に向けての激励会が開催されました。田中理事長、北村学長からの激励の言葉、中父兄後援会長や武井同窓会専務理事からは応援メッセージを頂きました。また、今春、歯科医師国家試験に合格した先輩3人からは、学習法や受験までの生活リズムのとり方等のアドバイスがありました。全員の合格を誓って学生の代表として高田君がお礼の言葉を述べ、会は終了しました。



先輩からのアドバイスを聞く学生たち

短大保健福祉学科実習決意式

6月30日、初めての学外施設実習を行う福岡医療短期大学保健福祉学科第1学年16人の実習決意式が短大305教室で行われました。田中理事長、栢学長の激励の後、第1学年を代表して辻本祥平さんが、施設実習に対する誓いの言葉を述べました。最後に第2学年の志村祐輔さんが昨年度の実習体験を述べ、後輩へのエールを送りました。

短大歯科衛生学科3学年激励会

7月8日、短大1階コミュニティーホールにおいて、歯科衛生士試験を受験する歯科衛生学科第3学年の激励会が行われました。それに先立ちホームヘルパー2級修了証授与が行われ、75人に修了証が授与されました。激励会では、田中理事長、青野常務、栢学長や緒方学科長から歯科衛生士試験合格に向けてのアドバイスや激励の言葉をいただきました。第3学年を代表して、石橋実奈さんが受験に対する決意とお礼の言葉を述べました。

【平成22年度入学試験】

福岡歯科大学

【AO入学試験】

本学のAO入学試験制度は、歯科医学を学び、歯科医師を目指す意志が明確で、次代の歯科医学をリードできる、若く、有能な人材を広く全国から募集する制度です。また、AO入学試験合格者のうち、入学試験成績上位3名の者に対して、入学初年度から卒業までの6年間学術奨励金を支給します。(但し、2年次以降は継続条件有)

募集人員	出願受付期間	試験日	合格発表日
約25名	H21年9月15日(火) H21年10月8日(木)	H21年10月10日(土)	H21年10月13日(火)

※詳細は福岡歯科大学学務課入試係(TEL.092-801-1885)までお問合せください。

福岡歯科大学歯学部				福岡歯科大学大学院 歯学研究所		
区分	推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	一次募集	二次募集
募集人員	約20名	約40名	約6名	約5名	18名	
出願受付期間	H21.10.26(月)~11.6(金)	H22.1.4(月)~1.28(木)	H22.1.18(月)~2.12(金)	H22.2.8(月)~3.11(木)	H21.7.27(月)~8.14(金)	H22.1.25(月)~2.12(金)
試験日	11月8日(日)	2月2日(火)	2月14日(日)	3月13日(土)	8月20日(木)	2月18日(木)
合格発表日	11月12日(木)	2月4日(木)	2月17日(水)	3月15日(月)	9月4日(金)	3月4日(木)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp					

福岡医療短期大学

福岡医療短期大学・歯科衛生学科						
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(公募)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	約10名	約10名	約15名	約5名	若干名	約40名
出願受付期間	H21.11.2(月)~11.12(木)	H21.11.2(月)~11.12(木)	H22.1.5(火)~1.28(木)	H22.2.2(火)~2.17(木)	H22.3.1(月)~3.10(水)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月14日(土)	11月14日(土)	2月1日(月)	2月19日(金)	3月12日(金)	
合格発表日	11月20日(金)	11月20日(金)	2月5日(金)	2月26日(金)	3月16日(火)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp					

福岡医療短期大学・保健福祉学科								
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	約15名
出願受付期間	H21.11.2(月)~11.12(木)	H21.11.2(月)~11.12(木)	H21.12.1(火)~12.10(木)	H22.1.5(火)~1.28(木)	H22.2.2(火)~2.17(木)	H22.3.1(月)~3.10(水)	H22.3.16(火)~3.23(火)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月14日(土)	11月14日(土)	12月12日(土)	2月1日(月)	2月19日(金)	3月12日(金)	3月24日(水)	
合格発表日	11月20日(金)	11月20日(金)	12月17日(木)	2月5日(金)	2月26日(金)	3月16日(火)	3月26日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp							

※保健福祉学科は、平成21年度入試から入学定員(募集人員)を変更しました。

平成21年度オープンキャンパス

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学の「オープンキャンパス」が右記の日程で行われます。

お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

(問い合わせは上記各入試係まで)

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月25日(土)・8月29日(土)
福岡医療短期大学	7月期 7月26日(日)
	8月期 8月7日(金)・22日(土)
	9月期 9月13日(日)・19日(土)
	10月期 10月24日(土)
	12月期 12月5日(土)

AO入試の説明会も行います。
(当日、エントリーカードをお渡しします。)



特別講義「本学が目指すこれからの口腔医学・医療」(大学)



模擬実習:DNAの析出と酵素分解(大学)



歯科衛生学科:学内見学(短大)



保健福祉学科:車イス体験(短大)